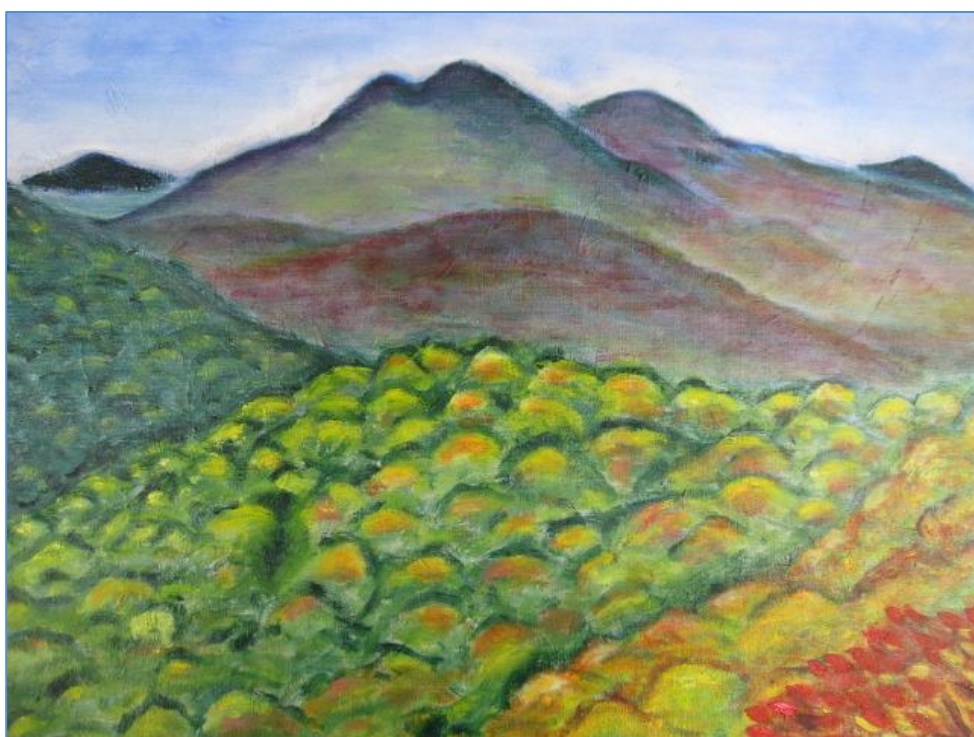


あかしら

No.358



2018. 9

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



あかげら

9月号

も く じ

01	縦走路「創立記念山行について」	古川 孝
02	今後の日程（事務局）	
03	今後の山行計画	
06	運営委員会報告	
07	事務局から	
08	県連報告	
09	専門部報告	
	●山行管理委員会 ●教育遭対部 ●会報部	
13	志向別グループからのお知らせ	
	◆岩手の名山歩こうかい ◆四季の山	
14	行ってきました！	
	▲山行報告	
16	丹波川支流の美溪“小常木谷”を遡る	木村 一
18	夏の暑い日に“水根沢”で水に親しむ	木村 一
21	ナメとナメ滝の美溪【那須井戸沢】を遡行する	木村 一
23	2018年創立記念山行（9/2）～岩手山・馬返し口～	畑中善四郎
24	創立祈念山行報告（上坊コース）	山口 斉
25	金足農業高校からの置き土産「岩手のヤマビルをどうする」	五嶋十三
27	救助隊訓練について	小野寺健一
28	交流の広場	



創立記念山行について

234 古川 孝

今年も9月2日、岩手山と姫神山で創立記念山行が行われました。

岩手山は2コース13名の参加、姫神山も13名の参加でした。岩手山では岩手山神社奥の宮で記念セレモニーが行われ、奥の宮前での登山の安全祈願礼拝と会長挨拶そして今回は参加者一人一人の自己紹介と今年登った山の思い出などを語り合いました。一方姫神山では例年美味しい料理をいただいているようですが、今年はフルーツポンチでお祝いしたとのことでした。

私は入会19年目になります。私の記憶でははっきりしませんが、山友30周年記念号によりますと今のような岩手山への創立記念山行は2002年（平成14年）からとなっています。その前年は創立15周年記念15山一斉登山で、この時私は4人のメンバーで和賀岳に登ったことを覚えています。それ以前は創立記念キャンプだったり、創立記念山行も鞍掛山や女神山だったこともあったようです。

私が9年前に組織部から山行企画部に移ってからは、新年山行と創立記念山行のセレモニーをほぼ担当して来ましたが、創立記念山行では、レクレーションで全員握手会を行ったことがありました。全員丸く輪になり、一人一人と挨拶の最初と最後には握手する。一人との挨拶会話時間はなるべく30秒以内で、話す内容は会員番号、氏名、出身小学校、最近登った山、その他、でしたが、当然あっという間に時間がなくなりました。また、東日本大震災のあった年は歌詞カードを作って「花は咲く」を歌おうとしましたが、その頃はまだこの曲があまり知られてなく、あまり歌ってくれませんでした。

創立記念山行の岩手山では、4～5コースから50人くらい集まった年もありましたが、残念ながら今年の岩手山で奥の宮に集まったのは12名にとどまりました。この理由はいろいろあるかと思いますが、やはり一つの要因は会員の高齢化でしょうか。でも、三浦雄一郎がエベレストに登ったのは80歳だったことを思えば、トレーニングによりまだまだ姫神山にシフトするのは早いと、私自身も思っていて頑張ろうと思います。盛岡山友会の重要なイベントである創立記念山行に来年は今年以上の人数で登りたいものです。

今後の日程 (2018/10/1～2018/11/3)

	行 事		行 事
10/1		18	
月		木	
2	☆県連理事会	19	10/15～10/21 No.385 小田嘉洋
火	10/1～10/7 No.433 岡 義博	金	
3		20	▲鮎山 (名山)
水		土	
4	▲三ツ石山 (スケッチ)	21	
木		日	
5		22	
金		月	10/22～10/28 No.279 松田幸久
6		23	
土		火	
7	▲岩手山 (四季)	24	◎10 月例会 (勤労福祉会館) 18:45～
日	▲安達太良山 (山行企画)	水	
8		25	
月		木	
9	10/8～10/14 No.455 大倉 博	26	
火		金	
10	▲東根山 (ゆうゆう)	27	
水	◎運営委員会 (杜陵老人福祉センター) 18:45～	土	
11	▲貝吹岳 (ウィーク)	28	◇救急法・普通救命講習 (つどいの森)
木		日	
12		29	
金		月	10/29～11/4 No.002 渡邊健治
13		30	
土		火	
14	▲乳頭山 (名山)	31	◇冬山入門講座 座学 (勤労福祉会館)
日		水	
15		11/1	
月	10/15～10/21 No.385 小田嘉洋	木	
16		2	
火		金	
17		3	
水		土	

◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。
090-4318-5128 (No. 19 中村美栄子)

◆山行管理専用アドレス: morioka_yamakan@freeml.com

今後の山行計画

* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 三ツ石山／松川大橋コース			企画	心のスケッチ山行クラブ
実施日	10 月 4 日 （木）	地形図	松川温泉・篠崎(1/25000)	
目 的	心のスケッチ			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	久しぶりに松川大橋から行ってみたいです。			
締切り	9 月 29 日(土)	打ち合わせ	10 月 1 日(月)18:30 おでって2F	
問合せ	工藤敬子 連絡先 : Tel 019-635-3203 FAX可			

【山域/ルート】 岩手山 2038m				企画	四季の山
実施日	10月7日(日)		地形図	大更 姥屋敷(1/25000)	
目 的	岩手山七コースを登る(御神坂)				
難易度	歩行:★★		荷物:★★		技術(無雪期):★★
コメント	御神坂コースピストン				
締切り	9月29日(土)	打ち合わせ	10月1日(月) 18:30 おでって2F		
問合せ	加藤桂子 (Cメールで) 080-6036-1387				

【山域/ルート】 安達太良山			企画	山行企画部
実施日	10月7日(日)		地形図	(1/25000)
目 的	紅葉を見る			
難易度	歩行:★		荷物:★	技術(無雪期):★
コメント	東北屈指の紅葉の名所に登りましょう。			
締切り	9 月 29 日(土)	打ち合わせ	10 月 1 日(月) 18:30 おでって2F	
問合せ	古川孝 090-8923-3120		fax 019-619-1014	

【山域/ルート】 東根山			企画	ゆうゆう
実施日	10 月 10 日(水)	地形図	志和・南昌山承山(1/25000)	
目 的	秋を楽しむ			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	美味しいものを食べて温泉に入ります。			
締切り	10 月 1 日(月)	打ち合わせ	10 月 2 日(火)おでって 2F	
問合せ	連絡先::TEL 080-6542-8871 433 岡 義博			

【山域/ルート】 貝吹岳			企画	ウィークデイクラブ
実施日	10月 11日 (木)	地形図	国見温泉・雫石(1/25000)	
目 的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	旧秋田街道から頂上を探したいと思います。			
締切り	9月 29日(土)	打ち合わせ	10月 1日(月) 18:30 おでって2F	
問合せ	工藤敬子 連絡先 : TEL 019-635-3203 FAX可			

【山域/ルート】乳頭山（1478m）			企画	岩手の名山歩こうかい
実施日	10月14日(日)		地形図	秋田駒ヶ岳(1/25000)
目的	岩手の名山を歩く			
難易度	歩行:★★		荷物:★	技術(無雪期):★
コメント	滝の上温泉コースを登ります。			
締切り	10月6日(土)	打ち合わせ	10月10日(水)	
問合せ	北田絹恵		連絡先::TEL 019-653-1025 080-1676-0700	

【山域/ルート】 鮎山				企画	岩手の名山歩こうかい
実施日	10 月 20 日(土)or21 日(日)		地形図	鮎ヶ崎(1/25000)	
目 的	本州最東端(重茂半島)を歩く				
難易度	歩行:★★		荷物:★		技術(無雪期):★
コメント	・鮎ヶ崎灯台の一般公開に合わせ鮎山に登ります。 (9/7現在一般公開日が 10/20 か 10/21 か確定しておりません)				
締切り	10 月 13 日(土)	打ち合わせ	10 月 15 日(月) おでつて 2F 18:30～		
問合せ	370 本間 典 連絡先::TEL019-653-7166 090-6782-2853(SMS 歓迎)				

あかげら 10月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部
No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp
 までお願いします。締め切りは10月7日(日)です。
 なお、今回から新しいフォーマットになります。

実施日	山域・ルート (市町村)	企 画	目 的	難易度: 歩行/荷物/ 技術	締切日	打合場所	申込先
		問合せ	コメント		打合日時		
8月2日(木)	秋田駒ヶ岳 (雫石町)	心スケッチ	心のスケッチ	★★/★/★★	7月29日	おでつて2F	019-635-3203
		工藤敬子	国見温泉～ムーミン谷～男 岳～馬の背 周回コース		7月30日(月)18:30		



2018年度 第6回運営委員会報告

出席者確認(出席者数:15/22名) 2018.9.12(水)18:50~20:20 杜陵老人福祉センター

渡邊	三浦(明)	中村(美)	石澤	中村(数)	松田(幸)	小原	千田
古川	山田(潔)	福山	小川	渡部(彩)	松田(希)	岡(義)	

【進行：三浦(明) 記録：中村(美)】

1 会長あいさつ

全国連盟内で7月以降5人の死亡事故があったので、当会でも注意喚起をお願いしたい。会の救助隊訓練は、とても充実してよい訓練になった。

2 報告事項・確認事項

(1) 現在の組織状況(9月13日現在)

会員数96名(男51名/女45名) 家族会員5名 会友6名 登山時報10月号 46部(1部増)

(2) 各専門部等の取組状況

- ① 山行管理委員会…ヒヤリハットがあった。ヒヤリハットの認識がないケースも多いので再周知する。
- ② 救助隊… 9/1(土)救助隊訓練実施。滝の上への道路、崩落のため通行止めになっている。
- ③ 教育遭対部…10/28の救急法・普通救命講習会の会場が、つどいの森の「都南老人福祉センター」に変更になった。
- ④ 会報部…「山友」の原稿依頼。「あかげら」は10月号からA4版になる。
- ⑤ 自然保護部…特になし
- ⑥ 事務局…西日本豪雨災害カンパ=24,000円弱に会費から追加して25,000円を県連に依頼した。
- ⑦ 県連報告…別紙

(3) その他報告事項…なし

3 協議・承認事項

- (1) 会HPの作り替えと経費について…現在のHPはアップしづらい。もう少し入りやすく、若い人たちに働き掛けるように作り替えられないか=全面的に変えることには相当の経費が必要。今はスマホなどで互いの連携も取れるようになってきている。入会した若い人たちには山行にも講習会にも個別にどんどん声掛けをする必要がある。HPの見直しは、SNSを入口に活用するなど継続検討する。
- (2) 「会員の手引き」について…改定案について運営委員会の中で検討中。遭対関係等の見直しを12月頃までにして、差し替え可能なファイル形式で発行する。
- (3) 会装備について…使用頻度の少ないもの・劣化したものの処分を検討したが、財産台帳に載る会の資産なので、もう少し時間をかけて点検し、処分については来年の総会に提案する。
現在、小田さんが保管している装備は、中村数博さんの倉庫に一旦保管してもらうこととした。

- (4) 公開 PH のお知らせブログ版について…今月は創立山行を掲載する。(山行企画部が担当)
- (5) あかぎらの専門部のページについて…教育遭対部と会報部が担当する。
- (5) 納山祭で行っていたオークションについて…納山祭では会話が盛り上がりすぎて集中できないため、11 月例会の後にすることとした。出品希望者には、11 月例会時に品物を持参してもらう。

第 7 回運営委員会は 10 月 10 日（水）杜陵老人福祉センターです

◆当面の予定

9 月 26 日(水)9 月例会(勤労福祉会館)	10 月 10 日(水) 10 月運営委員会(杜陵老人福祉センター)
9 月 30 日(日)フォローアップ山行	10 月 24 日(水) 10 月例会(勤労福祉会館)
10 月 2 日(火)県連理事会	10 月 28 日(日) 普通救命講習会(都南老人福祉センター)

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4 月／10 月	教育遭対部	5 月／11 月	山行企画部	6 月／12 月	会報部
7 月／1 月	組織部	8 月／2 月	事務局	9 月／3 月	自然保護部

事務局から

☆ 会員動向（9／13 現在）

会員数 96 名（男 51 名／女 45 名） 家族会員…5 名 会友…6 名
登山時報 46 部(1 部増)

☆ 会装備の処分について

8 月号で処分品の引き取り希望者を募りましたが、運営委員会報告のとおり取扱方針が変更になりました。申し込んでいただいた方には申し訳ありませんが、ご了解ください。

☆ オークションについて

(運営委員会報告の通り) 11 月例会で手持ちの不用品のオークションをすることになりました。担当は組織部です。提供者は今から準備して 11 月例会に持参してください。

本日の例会・会場担当は 自然保護部

10 月の例会は 10 月 24 日（水）勤労福祉会館 です

2018 年度 第 6 回県連理事会報告

2018.9.4 (火) 19:00～花巻市学園都市会館室

出席：渡邊健治、千田勝利

1 報告事項

- (1) 平出和也さんの講演会 10/12(金)18:30～モスビル(5F) 入場無料
※整理券はICI石井スポーツ 阿部さんに問い合わせを(水:公休)

2 協議事項

- (1) 県連県外遠征山行について 9/15(土)～17(月) 福島
盛岡山友会7名、釜石5名、花巻1名、生協5名、アウトドア5名 計23名
小型バスで実施。25名以上になったときは大型バスとする。
日帰り参加希望あり。
9/15(土) 7:00松園発-盛岡IC-東北道-被災地視察-夕鶴(交流会)
9/16(日) 8:00宿発-不動沢-五色沼-一切経山-浄土平-15:30吾妻小屋(泊) 歩
行:5時間
9/17(月) 8:00小屋発-野地温泉9:00-鬼面山-箕輪山-鉄山-安達太良山-
薬師平-ゴンドラ-奥岳温泉(入浴)⇒20:30松園 歩行:5時間
- (2) 県連セルフレスキュー訓練 9/8(土)12:00～9(日)15:00
9/8(土) 区界高原ウォーキングセンター 実践ビバーク訓練、夕食交流会
9/9(日) 区界少年の家 救急救命講習、レスキューロープワーク
- (3) クライミングレスキュー技術講習会 9/29(土)～30(日)
9/29(土) 大迫体育館で基礎練習 戸塚森森林公園バンガローで宿泊
9/30(日) 大迫体育館で実技訓練
*今回で5回目となる。宮城県連からも参加の予定。
- (4) 全国登山研究集会 11/23(土)～23(日) 愛知県
→平井がレポート提出
- (5) その他
①第21回全国ハイキング交流集会 9/15～16 静岡県・伊豆長岡温泉
今のところ、参加希望なし
②ホームページ開設支援講習について
宮城県連で希望している。宮城県連に日程確認。
③奥羽協議会の会議 11/10(土)～11(日) 秋田県連担当
④県連ステップアップ講座 11/11(日) ビッグルーフ滝沢 大会議室
9:30～12:00(講師講座) 13:00～15:00(自主講座)
参加費 500円
講師:中島隆之氏 心臓血管外科専門医 認定国際山岳医
(全国で80名位) 盛岡友愛病院副院長
[講座内容] ①中高年に多い心臓病、不整脈、心筋梗塞、心不全などに関して、
登山時に配慮すべき点など ②低体温、凍傷などにならないための注意点と
罹患した時の対応 ③ケガなどの応急処置の実習
[自主講座] ①セルフレスキュー実践:事故発生から搬送引渡しまでの山岳救助
方法の実践 ⇒定員48名

専門部報告

●山行管理委員会

■事故・ヒヤリハットについて

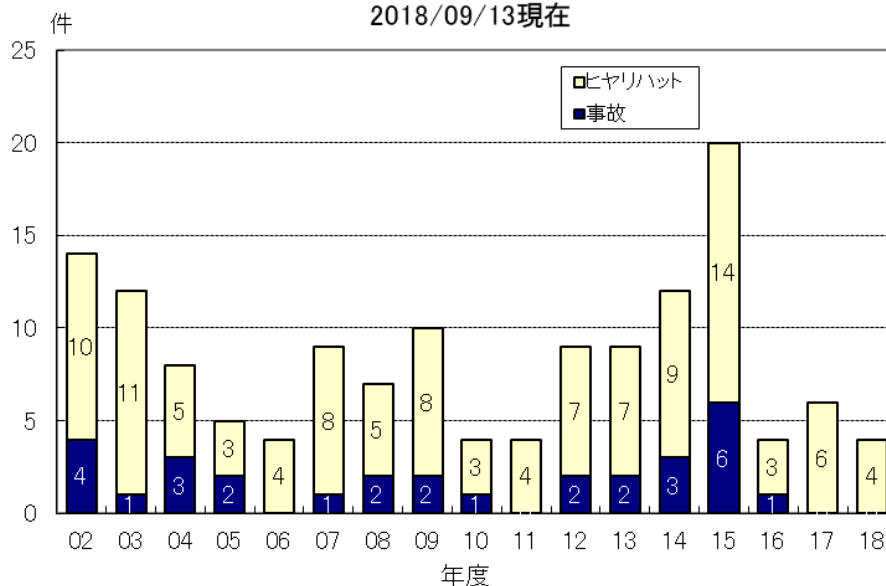
今年度に入り、これまで4件のヒヤリハット報告がありました。内容は、転倒が2件、体調不良が2件となっています。以下のグラフは2002年以降の推移を現しています。近年、ヒヤリハットの報告が少ないのが気になります。

ハインリッヒの法則では、「1つの重大災害や重大な事故1件につき、軽微な事故が29件、さらにその背後に隠れた事故寸前の案件が300件ある」とされています。これは、事故寸前の案件（＝ヒヤリハット）を少なくすることで、重大事故や軽微な事故の発生リスクを下げることを意味しています。問題はヒヤリハットに気づかないことです。

報告書には、対応を間違えば事故につながる出来事をヒヤリハットとして報告することになっています。この中には、体調不良で行程が大幅に狂ったり、途中から下山することもあります。もちろん、一歩間違えば転落や大きなケガを負いかねない転倒なども立派なヒヤリハットです。

山行中のヒヤリハットに気づくことが事故防止の原点であること。これを会で共有することが山岳会としての事故防止対策になることを再認識していただきたいと思います。

事故・ヒヤリハットの推移／盛岡山友会
2018/09/13現在



● 教育遭対部

・救急法・普通救命講習

午前は消防署に依頼し、普通救命講習

午後は会の救急パックの使い方、骨折の固定方法、大量出血の対応などを行います

過去3年救命講習会受講していない方は受講してください

日 時： 10月28日（日）9：30～16：30

場 所： 盛岡中央消防署（西口） 9：30～12：30
都南老人福祉センター（つどいの森）13：30～16：30

【場所が変わりました】

申し込み： 378 高橋英里子 080-3327-3448（SMSまたはメールで）

締め切り： 10月14日（月）

・冬山入門講座 座学

冬山登山に向けての注意点、低体温症・凍傷を防ぐ方法、必要な装備などの講習

今シーズンから冬山登山や山スキーを始める方は受講しましょう

日 時： 10月31日（水）PM6：30～8：30

場 所： 勤労福祉会館

申し込み： 279 松田幸久 090-1374-2367（SMS可）

締め切り： 10月27日（土）

・冬山入門講座 実技

岩手山の4合目から5合目でピッケル・アイゼンの訓練を行います

日 時： 11月18日（日）

場 所： 岩手山馬返しコース

申し込み： 279 松田幸久 090-1374-2367

締め切り： 11月10日（土）

打ち合せ： 11月15日（木）PM6：30 おでって

森林限界を超えての冬山訓練を行います

日 時： 1月27日（日）

場 所： 鶏頭山

♪♪「山友」第30号の原稿を募集しています♪♪

原稿募集内容と担当者のお知らせ

今年も「山友」は納山祭に発行予定です。会報部ではみなさんからの投稿をおまちしております。担当者と提出方法、提出先は下記のとおりです。

書式は、「あかげら」10月号の【書式のご案内】と同じです。

注目! ★ 締め切り 平成30年10月24日（水）例会時 ★

内容	提出方法	担当者	メールアドレス等
専門部、 志向別G報告	メール、郵送、 手渡し	No.357 渡部彩子	akabeko@d9.dion.ne.jp
山行報告、 エッセイ、俳句、 川柳、短歌、 詩等	メール、郵送、 手渡し	No.294 松田希	lets-climb@mirror.ocn.ne.jp
全員アンケート	メール、手渡し	No.323 三浦良夫	mirumaru33@dune.ocn.ne.jp
		No.484 内堀孝信	taka-uchibori@msg.biglobe.ne.jp
山の風景写真	メール	No.301 久保加世子	k-kubo@mba.nifty.ne.jp
新人会員の ひとこと	メール	No.377 菊池重顕	kikuike@d1.dion.ne.jp
	問合せ No.480 竹田真弓までメール		arrow-oxo@docomo.ne.jp

2018 みんなの山歩き 「山友」アンケート募集中 !!

今年の質問は一つ「ぜひみなさんの来年の抱負をお聞かせください。
山に限らず何でも構いません。」

アンケート用紙は、①9月例会時に配布 ②「あかげら9月号」と一緒に郵送
③会員専用ホームページよりダウンロードも出来ます。所定の用紙を使わずに直接
メールに、来年の抱負を書いて担当宛にメールでも構いません。

手書きの場合は、会報部 No.323 三浦良夫、またはNo.484 内堀にお渡しください。

メールの方は、mirumaru33@dune.ocn.ne.jp（三浦良夫）または、
taka-uchibori@msg.biglobe.ne.jp（内堀孝信）までお願いいたします。

「あかげら」は 10 月号より A4 サイズへ変わります

◎10 月号の原稿締切り 10 月 6 日（土）

※手書き原稿の場合は、2 日前までをお願いします。

□ 送り先

◎手書き原稿（郵送）

No.357 渡部 彩子 〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66

◎メール原稿

No.301 久保 加世子 メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp



【書式のご案内】

■用紙サイズ：B5→A4 へ変更

■余白設定：上・下は 25mm 左・右は 20mm へ変更（山友と同じ）

■本文のフォント：10~12 ポイント、明朝体またはゴシック体

※編集作業中に文字化けする可能性がありますのでフォントは守ってください。

「かわら版」原稿募集！！

会報部からお願いがあります。

10 月号から新しいコーナー「かわら版」ができます。

そこで A4 版移行に伴い記念号 No358 10 月号の原稿募集をしたいと思います！

かわら版は会員の皆さんとあかげらをつなぐ情報ページにしたいと考えており、内容には
こだわらず、数々の山を楽しみ愛してやまない皆さんの経験や知識を語る場として...

又 豆知識や大切にしている事等をこっそりあかげらに教えて頂けませんか？

提出先や書式は同じになります。

内容は何でもかまいません。

かわら版は不定期掲載の柔軟な枠になっていますのであえて×切は設けてません。

思い立った時...忘れてしまわないうちに...

ぜひ！ひとことを！！

志向別グループからのお知らせ

◆ 岩手の名山歩こうかい

今後の計画 2018年～19年

日程	山域	担当
10月14日(日)	乳頭山	北田
10月21日(日)	鮎山(とどやま)	本間
12月2日(日)	氷上山	小田(嘉)
1月27日(日)	姫神山	中村(美)
2月17日(日)	黒森山	工藤(敬)
3月10日(日)	室根山	千田
4月14日(日)	万寿山	佐々木(善)

次回の集まり 3月5日(火) 18時30分 杜陵老人福祉センター

◆ 四季の山

今後の計画 2018年～19年

日程	山域	担当
10月7日(日)	岩手山	加藤
11月3日(土)4日(日)	遠島山	級木
12月15日(土)16日(日)	五葉山	日比野
1月13日(日)14日(月)	箱が森	遠藤
2月10日(日)11日(月)	赤林山	熊谷
3月30日(土)31日(日)	源太岳	石澤

次回の集まり 3月5日(火) 18時30分 杜陵老人福祉センター

行ってきました！

〔8月13日～9月17日現在〕その1

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
1	8月13日	東根山	猫の背コース～山頂～蛇石コース	トレーニング	L 福山	1	個人
2	8月17日	鳥海山	鉾立コース	山頂から日本海を望む	L 小原(耕)	1	個人
3	8月18日	岩手山	御神坂コース	トレーニング	L 舟越	1	個人
4	8月18日 ～8月19日	吾妻連峰(前川大滝沢、東吾妻山)	滑川温泉～前川大滝沢遊歩、浄土平ビジターセンター～東吾妻山・吾妻小富士周	美深前川大滝沢を登る。	L 内堀〔会員外〕3名(ちば芳山)	1	個人
5	8月19日	岩手山	七滝コース	真夏の岩手山ロングコースを歩く	L 遠藤(千)・S 工藤(敬)・熊谷(久)・佐々木(善)・加藤(桂)・級木・日比野	7	志向別G
6	8月19日 ～8月20日	雲取山	鴨沢～石尾根経由～雲取山～雲取山荘往	東京都の最高峰に登る	L 石澤	1	個人
7	8月19日 ～8月21日	恵那山、塩見岳	広河原～恵那山往復、鳥倉林道口～塩見岳往復	南アルプスに登る	L 山田(潔)〔会員外〕1名	1	個人
8	8月20日	鑓山	たたら公民館～右回り周回	トレーニング	L 川村(雅)	1	個人
9	8月22日	岩手山	御神坂コース	トレーニング	L 岡(義)・S 高橋(恵)・太田代	3	個人
10	8月23日	朝島山	中央コース～山頂～鉾山跡コース	トレッキング	L 川村(雅)	1	個人
11	8月23日 ～8月26日	烏帽子岳、鉢盛山	高瀬ダム～烏帽子岳往復、岳沢入尾根口～鉢盛山往復	初秋の山を楽しむ	L 大峠	1	個人
12	8月25日	石上山(1,038.1m)、高清水山(797.7m)	綾織口～石上山往復、高清水牧場～高清水山往復	友人と登る	L 本間(典)〔会員外〕1名	1	個人
13	8月26日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L 中村(数)・S 高橋(陽)	2	個人
14	8月26日	黒倉山	網張りフト～黒倉山～姥倉山～犬倉山～網張りフト	黒倉山から素晴らしい景色を見ましよう	L 岡(義)・S 高橋(恵)・吉田(成)・小川(優)・佐々木(優)〔会員外〕2名	5	志向別G
15	8月26日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L 久保	1	個人
16	8月28日 ～8月31日	甲斐駒ヶ岳・アサヨ峰・仙丈ヶ岳・鋸岳	黒戸尾根～甲斐駒～栗沢山～アサヨ峰往復～仙丈ヶ岳～角兵衛沢出合～鋸岳往復	初秋の山を楽しむ	L 大峠	1	個人
17	8月29日 ～8月30日	北アルプス(笠ヶ岳)	新穂高温泉～笠新道～笠ヶ岳～鏡平～新穂高温泉	初秋の北アルプスを散策する	L 小田(嘉)・S 日比野・大倉・小田(春)	4	個人
18	9月1日 ～9月7日	農鳥岳、荒川岳・中岳・赤石岳・大沢岳・聖岳、笹ヶ岳	奈良田～農鳥岳往復、榎島～荒川岳～赤石岳～聖岳～榎島、榎島～笹ヶ岳往	初秋の山を楽しむ	L 大峠	1	個人
19	9月2日	岩手山	柳沢コース	創立記念山行	L 三浦(明)・S 工藤(敬)・中村(美)・古川・畑中・佐々木(善)	6	会
20	9月2日	姫神山	一本杉～山頂～こわ坂	創立記念山行	L 武田(秀)・S 熊谷(久)・S 加藤(桂)・渡部(彩)・太田代・吉田(成)・岡(義)・萩谷・菅原(富)・中村(由)・石原	11	会
21	9月2日	岩手山	上坊コース	創立記念山行	L 渡邊(健)・S 小野寺・山口・竹田(真)・内堀・石澤・小原(耕)	7	会
22	9月2日	姫神山	田代コース	創立記念山行	L 川村(雅)	1	個人
23	9月6日	紫波三山尾根	ラ・フランス～東根山～矢幅温泉	トレーニング	L 福山	1	個人
24	9月6日	黒倉山	網張温泉～犬倉分岐～姥倉山～黒倉山往	心のスケッチ	L 工藤(敬)・S 中村(美)・級木	3	志向別G
25	9月7日 ～9月9日	甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳	尾白口～七丈小屋～甲斐駒ヶ岳～北沢峠～仙丈ヶ岳～小仙丈ヶ岳～北沢峠	南アルプスにチャレンジ	久保〔会員外〕2名	1	個人

行ってきました！

〔8月13日～9月17日現在〕その2

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
26	9月9日 ～9月12日	奥茶臼山、塩見岳	しらびそ峠～奥茶臼山往復、鳥倉口～塩見岳往復	初秋の山を楽しむ	L大峠	1	個人
27	9月11日 ～9月12日	遠島山 (1,262m)、女和佐羅比山、男和佐羅比山	遠島山荘コース	ちょっと早い秋の小屋泊り	L岡(義)・S山崎(祐)・太田代	3	個人
28	9月13日	毒ヶ森(782m)	南昌トンネル北の沢林道～山頂往復	里山に登る	L本間(典)・工藤(敬)・級木	3	個人
29	9月13日	鱧山	たたら山公民館～右回り周回	トレッキング	L川村(雅)	1	個人
30	9月13日 ～9月14日	北アルプス(五竜岳)	遠見尾根ピストン(好天時は八方尾根)	初秋の北アルプスを散策する	L小田(嘉)・S大倉・小田(春)	3	個人
31	9月15日	八幡平	茶臼口～茶臼岳～黒谷地～八幡平山頂～メガネ沼～見返り峠	他山岳会と交流	S舟越〔会員外〕5名	1	個人
32	9月15日	牛形山 (1,339.8m)	夏油温泉～山頂往復	夏油三山の一つに登る	L岡(義)・S高橋(恵)・川村(雅)・太田代	4	志向別G
33	9月15日	岩手山	柳沢コース(五合目まで)	トレーニング	L中村(数)・S高橋(陽)	2	個人
34	9月15日 ～9月17日	焼石岳、鳥海山、岩木山	東成瀬コース、鉾立～御浜小屋～千畳ヶ原～七高山～七五三掛～鉾立、百沢口～岩木山～獄温泉	北東北の山々を巡る	L小原(耕)	1	個人
35	9月15日 ～9月17日	一切経山、箕輪山・安達太良山	不動沢～一切経山～吾妻小舎、野地温泉～箕輪山～安達太良山～薬師平(ゴンド)	福島県連主催の全国交流登山に参加	L渡邊(健)・S工藤(敬)・中村(美)・遠藤(千)・加藤(桂)・級木・山田(潔)	7	県連
36	9月16日	岩手山	網張りフト～大地獄谷～不動平～山頂～御神坂口	他山岳会と交流	S舟越〔会員外〕5名	1	個人
37	9月16日	三ツ石山	網張奥産道コース	トレーニング	L石原〔会員外〕1名	1	個人
38	9月17日	早池峰・薬師岳	小田越コース	他山岳会との交流	S舟越〔会員外〕5名	1	個人

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容ください



丹波川支流の美溪 “小常木谷” を遡る

No.350 木村 一

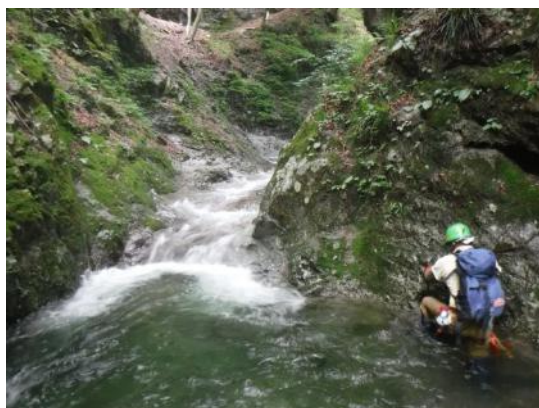
2018 年8月 4 日(土曜日)

天候 : 晴

メンバー: CL 木村 一 他 1 名(会員外)

余慶橋(6:40)～小常木谷入溪(7:00)～置草履悪場入口(8:15)～大岳沢分岐(10:50)

枝沢分岐(12:30)～登山道(13:50)～余慶橋(16:50)



夏の暑い日を涼しく過ごすには沢登りに限る。今回も参加人数が多い場合には奥多摩の水根沢で水に浸かった遡行をする予定だったが、参加人数が2名なので以前から遡行したかった丹波の美溪“小常木谷”に変更してAM4:00に集合場所を出発。

駐車予定場所の余慶橋付近の空地に駐車し、沢装備を身に着けて7:00出発。

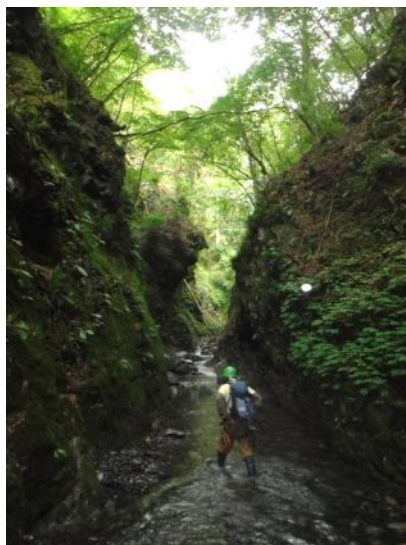
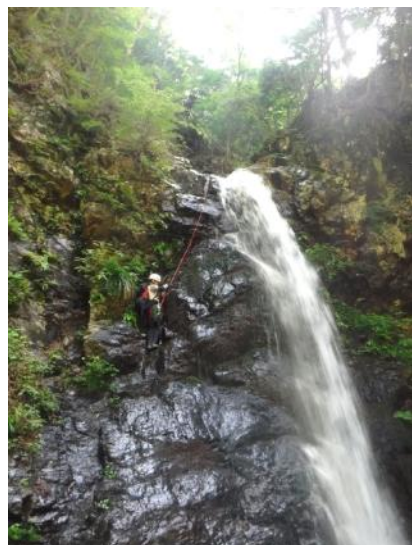
小常木谷と火打石谷との分岐から入溪

(7:30)。小常木谷はミニゴルジェを過ぎると直登できる小滝がいくつか出てくるので快適に越していくと、目の前に傾斜の強い兆子の滝(10m)が出てきた。ここから小常木谷

のハイライト

“置草履の悪場”が始まる。

ここで3人の先行者に追いついたが、先行者のラストが滝を越したので、我々は兆子の滝水流左側の凹状のところから取付き、

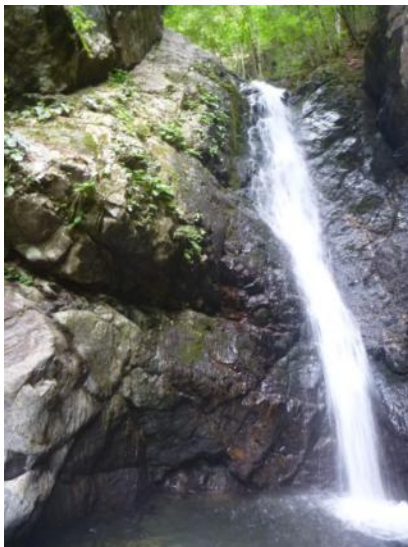




途中の出っ張った岩のところから右上して滝の落口に抜けた、更に上部の逆くの字状の滝は、私は倒木に跨ってアイスハンマーを駆使して乗越した。

小常木谷はミニゴルジュを過ぎると直登できる小滝がいくつか出てくるので快適に越していくと、目の前に傾斜の強い兆子の滝(10m)が出てきた。ここから小常木谷のハイライト“置草履の悪場”が始まる。ここで3人の先行者に追い付いたが、先行者のラストが滝を越したので、我々は兆子の

の滝水流左側の凹状のところから取付き、途中の出っ張った岩のところから右上して滝の落口に抜けた、更に上部の逆くの字状の滝は、私は倒木に跨ってアイスハンマーを駆使して乗越したが、Sは左壁から突っ張り気味に越してきた。更に上部の不動滝直登は無理なので先行パーティーは右岸から高巻きしていたが、我々は左岸から小さく巻き、立ち木を利用した懸垂下降で不動滝の落口に降り立った。ここで先行させていただき、5m滝は右壁を乗越し、更に進むと大滝2段18mが出現、下段は簡単なのでロープを付けずに登り、上段はシャワークライミングで滝の流心を攀じるか、又は傾斜の強い被り気味の左壁を攀じるか？ここは左壁の登攀を選択して取付き、途中3ヶ所に残置ハーケンがあったが慎重に越していった。この先は、小常木谷で一番有名



な下段7m、上段8mのネジレ滝。下段(7m)は水流左から取付き、4m程度登って右にトラバースするが、落口のところの1歩が滑り易くいやらしい。上段(8m)は同じく左壁を登るが、最初の1歩はスタンスが外傾しているので嫌らしい感じがした。上部は残置支点が数か所あるので、それを利用しながらラバーソールのフリクションを効かせながら越していくと、“置草履の悪場”が足下になったので休憩。まだ11時前なので大岳沢に入らず、そのまま小常木沢を詰める事にする。

小常木沢も“置草履の悪場”を過ぎると、溪相が一変して癒し系の沢になり、ナメ滝や直登できる小

滝が連続するので、快適に遡行を続け、1,300m 付近で左から入っている枝沢に入り、岩岳尾根の登山道の目指す事にした。枝沢は上部に進むにつれて水が枯れてガレ場になり、やがて落ち葉が重なった急な斜面になり、最後は枯れた笹竹の中を進むと岩岳尾根の登山道にとび出した。ここで沢装備をザックの中に収納し、下山用靴に履き替えて余慶橋を目指して下山するが、途中にはチタケ、タマゴタケ、大イチョウタケ等が出ていたので、食べる分のキノコ採りをしながら下山。16;50余慶橋到着。帰路に採ったチタケは翌日にナスと一緒に油で炒めて、更に麺つゆで煮込んでから冷やして、ソーメンで食したら絶品の味がして美味しかった。



夏の暑い日に“水根沢”で水に親しむ

No.350 木村 一

2018 年8月19日(日曜日)

天候 : 晴

メンバー: CL 木村 一 他 4 名(会員外)

水根沢キャンプ場(8:00)～水根沢入渓(8:15)～半円の滝(10:30)～水根沢キャンプ場(12:30)



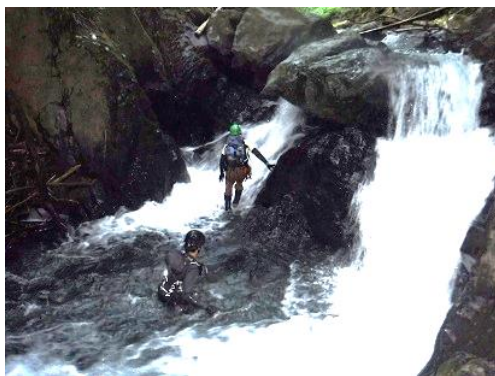
前回中止になった奥多摩の水根沢を遡行する計画で、総勢5名が水根沢キャンプ場に集結した。しかし、今日は今年の夏で一番気温が低く過ごし易い日曜日だ。水が冷たい事を予測して最初は雨具の上を着用していたが、途中で脱いだことを後程、後悔する事になる。

最初の滝上に溪流釣の人がいたので声をかけて迂回して上に行かせて貰った。鬱蒼

とした林の中を流れる沢の中には陽が差さず、胸まで水に浸かりながら滝を越していくと体温は徐々に奪われ、寒くて堪らずに陽だまりを見つけて休憩し、雨具の上着を再び着用した。行動食を口に入れて再び水の中に突入して小滝を越していくが、まだ20代の T はナメ滝でウォータースライダーを楽しむ余裕さもある。

『若いっていいなー』。





二段 20m 大滝の前衛となる 3m 滝は、もの凄い水量が轟々と音をたてて落ちており、とても近づけそうに無いので、右岸に這い上がってみると、左岸にシュリングがぶら下がっているのが見えた。ここには懸垂下降したと思われる支点があったが、一段下がったバンドをトラバースして水際に降りて、更に水際をヘツリ右岸に渡って大滝の右壁を越していった。



更に進むと、水流がぐるぐる回っている深い釜をもった斜瀑が出てきたが、ここは泳いで滝に取付くしかない。T が先陣を切って滝に飛び込み滝を越したが、I は滝上に上がれず水量に押し戻されてきたが、釜の中を回っている流木に掴まって何とか滝に取付き越していった。泳ぎが不得意

な S をロープで引っ張り上げて全員がクリア。

更に進むと水根沢のハイライトである半円の滝が出現。通常はこの滝は両岸に手足を

突っ張りながら越していくが、今日は水量が多いので左壁を越して登り、滝上でカメラを構えてからTとSが半円の滝を登るように促した。2名とも右壁を難なく越してきたので、Sは再度手足突っ張りにトライしたが、途中で水流に負けて足を捕られてしまい、意図しないウォータースライダーになってしまった。時計を見るとまだ



11 時前なので更に水根沢を詰める事にして先に進んだ。半円の滝上部にはナメや簡単に登れる小滝があり充分に楽しむことが出来たので、適当な所から作業道に上がったが、落ち葉の重なった土の急斜面のトラバースになってしまった。



GPS で確認すると上部に登山道があるので、杉林の急斜面を50mほど登ると登山道に出て、そこを下り水根沢キャンプ場に帰着した。



ナメとナメ滝の美溪【那須井戸沢】を遡行する

No.350 木村 一

2018 年8月 26 日(日曜日)

天候 : 晴時々曇り

メンバー: CL 木村 一 他 4 名(会員外)

井戸沢入溪(8:30)～終了点(11:40)～流れ石山(13:00)～井戸沢出合(14:40)



福島県と栃木県の県境に位置する流石山を源頭とする苦土川井戸沢は、6m～15m 位の滝が全て直登できるし、ナメが連続して明るく開けた沢なので入溪者が多い人気がある沢である。

苦土川を渡る橋のところにゲートがあるので、橋の手前の空き地に車を止め、歩き易いが長い林道を辿り、約 1 時間弱で三

斗宿跡地に着く。三斗宿の名の由来は、通常は四斗が一俵だが、大峠を越えるときにあまりの難所なので、馬に積む俵は、三斗を一俵としたことから、と伝えられている。三斗小屋宿は会津中街道の宿場として栄えたところだ。



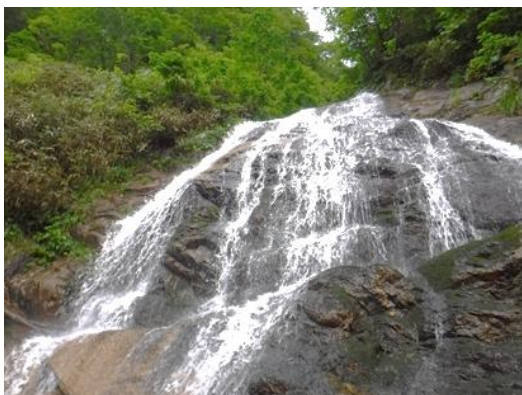
会津中街道は、会津若松から大峠を越えて開かれ、一時は参勤

交代の大名行列にも利用されたが、幕末の戊辰戦争の際には、三斗小屋宿は全戸焼き払われて消失したそうだ。

井戸沢の出合いは伏流で水流が無く貧相な感じがするので、出合いを見逃してしまいがちだ。先行パーティーは井戸沢に入らず真直ぐに進んで行った。中ノ沢を遡行するのかな？

入溪して最初に堰堤が出てくるが、この堰堤の

前面には、間伐材を半分に切った丸太が貼り付けてあり、周辺の風景とマッチングした堰堤になっている。



F1(15m)は、念のためにロープを付けて水流右の階段状のリッジを登って行くと、上部は傾斜が強くなるが、良く見るとホールドは豊富なので強引に登り、ブッシュに入り、そこから巻き気味に滝の落ち口に出た。沢慣れしたパーティーならロープは不要である。

上部には直登できる小滝が次々に現れて遡行者を飽きさせない。小滝をいくつか越して行くと、10m 斜曝は右壁をロープを引っ張って直登し、更に 15m 滝は後続者の安全を期してロープを結んで登るが、階段状になっているので、快適に越して行く。

中流部にはナメとナメ滝が連続し明るく開けた沢の中、シャワーを浴びながら快適に越して行くと二俣に到着。ここは右股に入り、更に続く小滝群を楽しみながら越して行くとチムニー滝が出てくるが、ここを越すと水流も少なくなり源頭が近いことを知らせている。



窪地状になったところを進むと、ひざ下丈の低い笹藪をほんの少しかき分けながら登ると、流石山と三倉山の稜線に飛び出した。

ここで沢装備を解除してザック、に仕舞い、大休止してから大峠を目指して下山開始。大峠からは三斗小屋宿跡へ下山し、タマゴ茸を採りながら入渓地点に戻った。





2018 年創立記念山行（9/2）～岩手山・馬返し口～

NO. 406 畑中善四郎

S L の工藤敬子さんをトップに気象の中村美栄子さん、記録の畑中、古川孝さん、佐々木善男さん、C L の三浦明夫さんの少数（精鋭）部隊で霧の垂れ込めるなかほぼ定刻の 6 時頃に出発しました。私は 2012 年に入会しましたが、昨年 6 月体調を崩して 3 週間の入院療養以来はじめての岩手山登山でした。はじめての創立記念登山でもありました。蒸し暑い樹林のなかを 1 合目（6:53）と 3 合目（7:38）で小休止を取りながら順調に高度を稼ぎ、4 合目あたりから時折雲間からのぞく下界の風景を楽しみ、時より吹く涼やかな風に励まされながら定刻より 12 分早い 8 時 18 分に五合目に到着です。少し多めの休憩をとったのち、7 合目までの砂礫や段差のきつい岩場に挑みます。6 合目で大蔵岩（地震、雷で割れた危険な箇所）に上がってダンス？をしている若者グループがいて、危険であることを伝えてあげました。下から登ると危険であることの注意書きや立ち入り規制のロープが目にはいるのですが、別コースから登ったと見えて気づいてなかった様子でした。7 合目に着くと秋を思わせる空に岩手山のお鉢がくっきりとみえました、ここまで長い胸突き八丁でした。山頂を右に仰ぎながら平坦な道を 8 合目へ、CL 三浦さんから「歩きやすくても気を抜かないように、安心してしまうこの様な道こそ事故が多い」とのアドバイスが飛ぶ。8 合目に予定より 30 分早い 9 時半に到着でした。大休止、三浦さんが親しくされている幅広い活躍の登山家・阿部陽子さんから山岳レスキューの基本や心構えを聞かせていただきました。山頂にはお鉢を右回りで 11 時到着、9 月の山頂は寒かったですね。その後奥宮に移動して昼食をとりながら上坊コース組を待つ。合流して、神官の雰囲気を感じさせるセレモニー係の古川さんの進行で盛岡山友会創立記念山行の参拝を済ませました。下山は慎重に歩を進め、15 時 30 分無事記念山行を終えました。



た。久しぶりの岩手山登山、初めての創立記念山行、私にはダブルで記念になる登山になりました。工藤さんにはいつも美味しいおかずをありがとう、佐々木さんには山行計画の取りまとめや連絡などにご苦労をお掛けしました。

来年は創立記念山行未経験の方はじめもっと多数の参加で祝いたいと感じました。



創立記念山行報告（上坊コース）

No.479 山口 斉

2018年9月2日（日） 天候：曇り

参加者 CL：渡邊（2）、SL：小野寺（363）、石澤（140）、小原（454）、竹田（480）、
内堀（484）、山口（479）

06：00 焼走り駐車場集合

06：30 上坊口：林道は少し荒れている。

09：00 ツルハシ分かれ：ここまで、湿度・温度共高く、疲弊。

10：00 平笠不動避難小屋：山頂がはっきりと見える。

11：00 山頂：霧のため視界不良。

11：30 奥の宮：馬返しコースのメンバーと合流、創立記念セレモニー。

（会長挨拶、全員が自己紹介と、今年、印象深かった山について発言。）

12：30 平笠不動避難小屋：山頂からの下山時には視界回復。

15：30 上坊口：ツルハシ分かれから下は、未だ濡れていて滑る。

16：00 焼走り駐車場解散

私事になるが、今回のコースは再度、今月中に、友人と登る予定である。友人は、私と一緒に山行で、両手の指、全てを失った。昨年、癌を発症してから、山登りを再開した。

金足農業高校からの置き土産「岩手のヤマビルをどうする」

No.1 五嶋十三

今年の自然保護部の自然観察会として従来からヤマビルの生息地と言われている八方山（花巻市）の生息確認を兼ねた「ヤマビル観察会」を8月11日に開催した。

結果は、お互いに注意していたにも関わらず、10人中9人にヤマビルが這い上がり、うち3人が腕、足首、ふくらはぎを噛みつかれ出血する惨状でした。まさに「八方山ヤマビルを探して襲われる」という状況でした。

登山口（長根崎コース）を出発した直後から頂上までシャクトリムシのように移動するヤマビルを確認した。ヤマビルを発見するたびに皆で立ち止まって観察と駆除（塩等）を繰り返しましたが、この間、スパッツまで2名、手まで1名がヤマビルに這い上げられ、1名は腕を噛まれて出血した。

祠のある頂上付近での昼食時には衣服に付着したヤマビル5匹を発見し、帰りは付着されないようあまり立ち止まらずに下山しましたが、駐車場ではスパッツに2名、靴下に1名にヤマビルが付着し、1名が足首を噛みつかれて出血した。更に帰宅後に1名がふくらはぎを噛まれて出血したとの報告があった。

今回の観察会で、八方山の登山道には登山口から頂上までヤマビルが生息していることが確認された。前日と早朝の降雨で蒸し暑かったことでヤマビルの活動が活発化し、10人の足音で獲物を感知し、立ち止まっている時に付着するという条件が重なったため、ヤマビルを多数見つけることが出来たとともに逆襲されたものと思われる。

ヤマビルの山では、グループで行動する時はお互いの体を見るように心がける、しゃがみ込むと最短コースで腕や首まで移動（1m/分）するので注意が必要である。

なお、2014年頃には登山口にあった「長根崎コース」と「注意！熊・山ヒル出没中」の看板が無くなっているので再設置する必要がある。

八方山は早春や秋の登山が多いのでヤマビルに遭遇することは少ないが、今回のように夏場に行く際には要注意で、足まわりや襟もとの防御、忌避剤の噴霧などをしておいた方が良いと思う。

私が岩手県のカマキリに関心を持ったのは、2009年に秋田県のカマキリ農家の先生から、秋田県ではカマキリが山地だけではなく一部地域では平地（草地等）までカマキリに汚染されて大問題になっているのに、隣県の岩手県では被害が報告されていない、岩手県にはカマキリがいないのだろうかとの問い合わせがあったのが発端である。

その後（2009年末？）、当時勤務していた職場に金足農業高校から正式にカマキリのアンケート調査（岩手県内約20か所）があり、その結果を2010年8月に盛岡市で開催された「日本学校農業クラブ東北連盟大会」で金足農業高校（女性徒4名）が「山の吸血鬼から農家を救え」をテーマにしてカマキリの被害実態、生息調査、生態観察や忌避剤の開発について研究発表している。

発表の中で、生息数が少ないとされている岩手県に対して森林管理署などにアンケート調査により、カマキリの生息域が県北地域まで拡大しニホンジカの移動範囲と重なっていることが判明したとし、いずれ畜産地域（牧草地、放牧地）にも広がってしまう危険性があると指摘するとともに、岩手県での宿主（媒介）動物については主にニホンジカとみている。

岩手県内の生息地は、金足農業高校発表では県北を含む7か所？（場所不明）、「カマキリ研究会」（一般財団法人環境文化創造研究所内）では飯岡山（盛岡市）と雫石町鶯宿となっている。

他に住田町の気仙川で釣り中に首を噛まれた山友会会員の報告、八方山のヤマビルの動画を見せた姉からは旧衣川村で山菜取り中にこれと同じような虫がヤッケに這い上がってきたことがあるとの話も聞いている。

岩手県及び隣接する3県の特定鳥獣管理計画等に記されているヤマビルに関する記述は次のとおりである。

- ◎ 山林だけではなく草地、林地に隣接するあぜ道、畑や住宅地までヤマビルの生息が広がっている秋田県では、「第二種特定鳥獣管理計画（カモシカ）」にヤマビルの生息範囲の推移やDNA診断によるヤマビル媒介動物の同定結果などを大きく盛り込んでいる。宿主動物は主にカモシカ
- ◎ 宮城県では、平成27年度に改定した「ニホンジカ管理計画」にはヤマビルの記載は無いようだが、ニホンジカが多数生息している牡鹿半島ではヤマビル注意や忌避剤が記載された看板や観光パンフが設置配布されている。
- ◎ 1992年にニホンジカが初めて確認されて以来急増している青森県では2017年に策定した「青森県第二種特定鳥獣管理計画（第Ⅰ次ニホンジカ）」では、まだ生息していないヤマビルを「その他の被害」の欄の中で言及している。
- ◎ 2017年に改定された岩手県の「第5次シカ管理計画」ではニホンジカによる早池峰山の高山植物の被害防止対策が盛り込まれているが、ヤマビルに関する記述はない。

他県との連携では隣接県（宮城県、秋田県、青森県）との情報交換程度にとどまっているが、2016年8月に開催された第2回シカ保護管理検討委員会（第5次シカ管理計画（案）の検討）では、委員から牡鹿半島ではヤマビルが大変なことになっているので生息域が繋がっている陸前高田市にヤマビルが北上するのを危惧しており、その情報を宮城県から得るとか、共同で対応するも良いではとの意見が述べられている。

金足農業高校の調査によれば、増加して生育域を拡大しているニホンジカがヤマビルの汚染地（生息地）に侵入してシカの蹄等に付着することによりヤマビルが拡大しているとみている。

岩手県でヤマビル被害が問題にならないのは、ヤマビルがまだ山地に留まっているので被害に遭うのはその山に入った登山者、山菜採集者、溪流釣り人や林業者など一部の人達に限られているためと思料される。

これが、岩手県も秋田県や宮城県のように里山、草地、畑、あぜ道、遊歩道等に生息域が拡大して農業者や一般県民にも被害が広がれば取り返しがつかないことになる。一度ヤマビルの生息域になってしまうと、薬剤散布などをしても除去することは非常に困難と言われている。

2009年に金足農業高校がアンケート調査等により岩手県の生育域を明らかにして草地等への侵入する恐れがあることを指摘して頂いたことを受けて、ヤマビル被害を予防し生育域の拡大を防止するためには、定期的な生息域調査が必要であると痛感している。

県北地域まで拡大しているとされているヤマビルが隣県の青森県に侵入させないためにも、計画的にモニタリング調査（目撃情報の収集、生息密度の把握、DNA診断による宿主動物の同定、被害状況の把握）、少なくとも目撃情報の収集を早急に取り組まなければならない。

岩手県勤労者山岳連盟が総力を挙げて、加盟山岳会会員、関係機関団体等に目撃情報のアンケート調査をするだけでも今まで以上に生息域を特定できると思う。

生息域を調査して生育域分布図を作成し、更にヤマビルを捕獲して岩手県の協力を得られればDNA診断による宿主（媒介）動物（ニホンジカ、カモシカ、イノシシ、キツネ、タヌキ等）も同定可能となる。

ヤマビル目撃情報調査を是非、岩手県勤労者山岳連盟の業務として全県を対象にして取り組んで貰いたい。併せて会員の皆さんには暖かい日ならこれからも八方山でヤマビルを観察できると思うので、山の吸血鬼の雰囲気を経験して頂きたい。

救助隊訓練について

No.363 小野寺健一

盛岡山友会救助隊訓練が、9月1日(土)に、救助隊員11名が参加して、盛岡市黒川の中村数博さん所有の事務所にて行われましたので、報告します。(会場については、当初、姫神山一本杉コースキャンプ場の予定でしたが、前日までの雨の影響により変更したものです。)

訓練内容は次のとおりです。

1 ザック搬送

①ザック3個を使用して簡易担架を製作して搬送。

【ポイント】・運ぶ人は6人必要。真ん中のザックは堅い方が良い。

②遭難者の足をザックのショルダーベルトに入れて、そのままザックごと背負って搬送。

【ポイント】・立ち上がる時、周りの人が遭難者を持ち上げることが必要。
・ストックがある場合は、ショルダーベルトにストックを通して、遭難者の足を掛けると遭難者が楽になる。

2 シート搬送

ツェルト(またはブルーシート)、カラビナ5個×2、ロープ2本を使用して遭難者をツェルトに包んで搬送。

【ポイント】・シートベント、マスト結びによりロープをツェルトの端に通していくので、ロープワークが必須。

3 スケッドストレッチャーによる搬送

スケッドストレッチャー：柔軟なプラスチック製の担架。

【ポイント】・組み立て方法があるので、緊急の場合に対応できるよう訓練しておく必要。

4 サムスプリントによる患部の固定

サムスプリント：アルミ合金の面にウレタンフォームを貼り合わせた副木。

【ポイント】・テーピングとの併用や、サムスプリントを複数枚使用することで、しっかり固定できる。

5 チロリアンブリッジによる搬送

木と木の間にロープを張り、そのロープにスケッドストレッチャーに乗せた遭難者を吊り下げ、搬送。引き上げは5分の1システムで行った。

【ポイント】・引き上げシステムの作り方は、何度も練習して覚えることが必要。

1-① ザック3個を使用した簡易担架	3 スケッドストレッチャーによる搬送	4 サムスプリントによる患部の固定	5 チロリアンブリッジによる搬送
			

交流の広場

9月1日(土)に救助隊訓練を行いました。
我が盛岡山友会の救助隊に登録されているメンバーは18名です。

8月の例会(あかげら)での急な呼びかけでしたが11名の参加でした。

訓練にあたっての今回のお題は

下山中に転び足を痛める。

骨折をしている可能性があります。

自力下山は不可能。

事故現場は落石の可能性がある。

1、安全地帯への搬送

持っている装備での素早い搬送。

ザックを三個繋げての担架やツェルトと細引きで梱包しての搬送。

作るのに四苦八苦「以前は作れたのに…」

との声も

2、骨折の副木

会の医療パックに入っているサムスプリントを2枚使った固定。

全員が足に巻いてどのように固定できるかを確認しました。

ここまではセルフレスキューの分野、会員全員に覚えてほしい技術です。

3、ヘリでピックアップできる場所まで長距離の搬送

ここからが救助隊の訓練

救助用のスケッドストレッチャーに 50kg 程度の砂を入れて6人で搬送をしてみました。

平地でしたが、100m位で腕が張ってきました。

大人数でこまめに交代しないと長距離搬送は不可能です。

斜面の搬送で有効なチロリアンブリッジも作ってみました。

こちらはロープでストレッチャーを宙に浮かせるので力を使わず楽に移動できました。

会報部員のひとこと

山の事故はヘリコプターで敏速な救助が一般的になりました。

しかし天候が荒れていればヘリコプターは飛ばません。

登山者は救助が来るまで生き延びる技術を身に付けていなければいけません。

会では山での事故に備えてビバーク訓練や救急法、持っている装備でのセルフレスキュー訓練を行っています。

(まっちゃん)

— 「奥羽の秋の山並み」 —

国見温泉付近から眺めた秋の走りの山々、貝吹岳、地森、五番森、ゆったりした山々、貝吹以外の山の名前の由来は何か興味津々です、それらの山への道はほとんどなく、あったとしても入山者が少ないため消えている事でしょう。

地森は冬に盛岡方面から夕方見ると夕日が沈むところです、小さな山並みも私たちに癒しを与えてくれています。

No, 382 三浦明夫

あかげら 第358号

2018年9月26日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 渡部彩子

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

盛岡山友会のホームページ

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～